

「杜の都防災力向上マンション認定制度」とは？



▲マンション独自の防災活動(ポスター応募者の表彰)



◀認定マーク

仙台市では、マンションにおける防災活動の充実や建物の防災に関する性能の向上を図ることを目的に、マンションの防災力を市が独自に認定する「杜の都防災力向上マンション認定制度」を設けています。この制度は、建物の「防災性能」と住民による「防災活動」のハード・ソフト両面から防災力を認定します。取組みの状況に応じて、「防災性能」と「防災活動」をそれぞれ星の数(最大3つ星)で認定し、あわせて最大6つ星で評価するものです。

東日本大震災では、マンション居住者同士の支え合いによって、非常時の不便な生活を乗り切った事例もありました。

災害はいつ起こるか分かりません。事前の一人一人の備えや各マンションでの防災の取り組みの実施、そして地域との協力といったことが防災・減災につながっていきます。マンションの防災・減災をすすめる一つのきっかけとして、本制度をご活用ください。

仙台市都市整備局住宅政策課

TEL 022-214-8306 FAX 022-268-2963

お知らせ

●「仙台市 復興五年記録誌」「仙台復興のあゆみ」を発行しました

東日本大震災の発生から5年間の本市の復旧・復興や防災・減災の取り組みなどをまとめた「仙台市 復興五年記録誌」を発行しました。この記録誌は、震災で本市が直面した課題やそこから得た教訓、その対応を次世代へ継承し、将来の災害に備えるための一助としていただくことを目的としたもので、全国の自治体などに発送しました。市政情報センターや市民図書館などで閲覧できます。

「仙台復興のあゆみ」は、本市復興の原動力となった様々な主体による多様な取り組みをインタビュー記事などで紹介する記録誌で、せんだい3.11メモリアル交流館や市政情報センターで無料で配布しています。どちらも仙台市ホームページでもご覧いただけます。

仙台市まちづくり政策局震災復興室

TEL 022-214-1266 FAX 022-268-4311

HP 仙台市 復興五年記録誌 <http://www.city.sendai.jp/shinsaifukko/shise/daishinsai/fukko/5nenkiroku.html>
仙台復興のあゆみ <http://www.city.sendai.jp/shinsaifukko/shise/daishinsai/fukko/fukkonoayumi.html>



▲復興五年記録誌(上)と仙台復興のあゆみ(下)

●平成29年度「仙台防災枠組講座シリーズ」第1回講座を開講しました

第3回国連防災世界会議で採択された国際的な防災指針「仙台防災枠組 2015-2030」を学ぶ機会として開講している連続講座「ともに考える防災の未来—私たちの仙台防災枠組講座シリーズ」を、11月の世界防災フォーラムに向け、今年度も開講しています。

7月9日に開催した「基礎から学ぶ仙台防災枠組」では、東北大学災害科学国際研究所の今村文彦所長・泉貴子特任准教授が、仙台防災枠組の内容や役割について分かりやすく解説しました。当日は子どもから大人まで約100名が講座を受講し、「仙台防災枠組は政府や自治体だけではなく、自分たちにも関係があるものだ」と知った「地域での防災活動にも生かしていきたい」などの感想がありました。



▲今村先生による講義の様子

11月に世界防災フォーラムを開催します!

防災の専門家による国際会議「世界防災フォーラム」を仙台で開催します。一般公開セッションやイベントも盛りだくさんです。ぜひご来場ください。

●「世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台2017」

日時 2017年11月25日(土)～28日(火) ※一般公開は26日まで

会場 仙台国際センター、東北大学川内萩ホール

<http://www.worldbosaiforum.com/>

◆同時開催行事 ※11月26日(日)～27日(月)

・防災推進国民大会2017 <http://bosai-kokutai.jp/>

・2017防災産業展 in 仙台 <http://biz.nikkan.co.jp/eve/tohoku-bousai/index.html>

会場 仙台国際センター



経験をつなぎ、そして未来へ
防災環境都市・仙台

発行 仙台市まちづくり政策局防災環境都市推進室

T 980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1

T E L : 022-214-8098

F A X : 022-214-8497

E-mail : mac001605@city.sendai.jp

編集 株式会社仙台紙工印刷

発行日 2017年7月

▶「えーる」は防災環境都市・仙台ホームページにも掲載しています。

<http://sendai-resilience.jp>

仙台市の取り組みから、市民の方々の取り組みまで、より詳しく紹介しています。

▶次号は11月発行予定です。

タブレットでも！
スマホでも！



この印刷物は「再生紙」を使用しています。

「杜の都」

「伝える」「繋げる」「備える」を応援する
防災環境都市・仙台的市民情報誌です。

仙台市では、「杜の都」の豊かな環境を活かしながら、防災力のあるまちをつくり、ひとをはぐくむ「防災環境都市づくり」を進めています。「えーる」では、防災・減災や環境に関わるさまざまな分野で活躍する“ひと”に注目し、その取り組みを紹介していきます。

2017 No.5

テーマ
生活の中の
防災活動

表紙 インタビュー
伝える 仙台

ザ・ライオンズ定禅寺タワー管理組合 理事長
仙台市青葉区春日町会 副会長
熊谷 祐一さん(仙台市出身)(左)

ザ・ライオンズ定禅寺タワー管理組合
前理事長 山下 正一さん(仙台市出身)(右)

住民同士の関係づくりと、地域と育む防災活動。

当マンションは、平成24年2月に入居が始まった29階建てのタワーマンションです。震災の経験を踏まえ、マンション独自に自主防災組織を立ち上げ、平成25年に「防災ハンドブック」や「防災マニュアル」を作成しました。翌年には、入居者の約9割の方々から「居住者防災情報カード」を提出いただき、記入された世帯構成や非常時支援の要否などに基づいて入居者を避難時における「避難誘導班」、「救護班」などの4班に組織できたことは、大きな成果でした。

当マンションでは3年連続で防災訓練を実施しており、初回の平成26年の訓練では、全戸への通報連絡や救護場所を設営し、火災を想定した2回目の訓練では、非常階段を使った避難訓練と消火訓練及び非常食の試食会を行いました。3回目には、東北福祉大学のTeam Bousaisiの皆さんにもご協力いただき、夜間を想定した要援護者の避難訓練と濃煙体験に挑戦。要援護者の方とは事前に個別面談をするなど、安心・安全を確保した

きめ細かな対応を心がけました。こうした隣近所の入居者との顔の見える関係づくりも、防災・減災を進めていく上では大事な要素です。

私たちはマンション周辺地域とのつながりも大切にしています。平成25年には、地元の町内会「春日町会」に管理組合として一括入会。地域の防災訓練はもちろん、お祭りなどの行事にも積極的に参加しています。こうした活動が認められ、平成28年3月、仙台市の「杜の都防災力向上マンション認定制度」において最高の6つ星認定を受けました。

初回80名だったマンションの訓練参加者も今では140名まで増え、結束力も高まっています。今後は高齢者や若い世代の入居者との交流や、行事などを通じて、顔の見える関係づくりを進めていきたいと思っています。マンションが抱える防災上の課題を住民の皆さんと共有しながら、生活に密着した防災活動を進めていきたいです。



▲非常階段で要援護者の避難訓練を支援する東北福祉大学 Team Bousaisiの皆さん



▲防災訓練での濃煙体験

ザ・ライオンズ定禅寺タワー管理組合

平成24年2月、同マンションの入居開始時に設立。全居住者向けの「防災ハンドブック」や「防災マニュアル」、玄関ドア取付用安否確認マグネットステッカーの作成ほか、「自主防災組織」の設置、備蓄物資の充実などにより、平成28年3月、仙台市独自の「杜の都防災力向上マンション認定制度」において最高評価の6つ星を獲得。理事長が地元町内会「春日町会」の副会長を務めるとともに、敷地内に町内会の防災備蓄倉庫も併設。



テーマ・インタビュー 繋げる仙台

防災を楽しく学び、伝える若い力。 未来へつなぐ、学生防災士の活躍。

東北福祉大学では、平成24年から「学生防災士」の養成に取り組んでいます。今回は、「木町通小学校学区合同防災訓練」(6月24日実施)に参加した、同校「Team Bousaisi」の学生防災士3名の方に、学生ならではの防災活動への取り組みについて、お話を伺いました。

東北福祉大学防災士協議会 Team Bousaisi 代表
学生防災士

に き
吉成 仁紀さん(写真左から)

総合マネジメント学部 産業福祉マネジメント学科2年
黒川郡大和町出身。

東北福祉大学防災士協議会 Team Bousaisi
学生防災士

れい な
古川 玲那さん

総合福祉学部 福祉行政学科2年
福島県会津若松市出身。

東北福祉大学防災士協議会 Team Bousaisi
学生防災士

ま ゆ
岡田 麻祐さん

総合福祉学部 福祉行政学科2年
福島県二本松市出身。



▲小学生と防災ゲームをする様子(木町通小学校)

震災の経験と、 地域の防災活動に貢献する「防災士」への思い

—— Team Bousaisiに入会したきっかけは何でしたか。

吉成 東日本大震災の時はまだ中学生で、被災地の様子をテレビで見ていることしか出来ませんでした。大学では自分も何か人の役に立つ事をしたいという思いが強くあり、Team Bousaisiの活動を知り入会しました。

岡田 自分の、福島での震災の体験を伝えなかった事と、防災士の先輩達がとても楽しそうに防災を学び伝えている様子を見て、自分も楽しみながら、地震や防災について知ってもらえるような活動をしたいと思ったのがきっかけです。

古川 大学に入るまでは災害から身を守るために防災や減災という考え方があったことも知らなかったのですが、先輩達の活動から防災・減災のための取り組みだけでなく、「自助」や他の人も助ける「共助」を知りました。
私も福島出身で、震災の時はただ怯えていることしか出来ませんでしたが、防災士の資格を取り、地域の防災力を向上させるような活動をしたいと思いました。

異なる世代をつなぐ学生防災士の活動

—— 合同防災訓練では、どんな活動をしましたか。

吉成 メンバーの40名以上が参加し、木町通小学校での「防災出前教室」、第二中学校での「避難所立ち上げ訓練」、「応急手当訓練」と「アルファ米炊き出し訓練」の指導やサポートを行いました。訓練を通して感じたのは、町内会の方々の防災に対する

意識の高さと、小学校低学年から中学生の皆さんが、真剣に取り組んでくれた事です。

岡田 私は、避難訓練の後、小学1・2年生に「防災出前教室」を行いました。地震や防災に関するクイズ、防災ゲームを通して、地震や防災の事を楽しく学んでもらえたと思います。防災というと堅いイメージがありますが、小さい子どもにもわかりやすく防災を学んでもらい、実際に災害が起きた時にどのように行動したら良いか、大人と一緒に考えてもらえるよう、年齢層に合わせて話し方や伝え方を工夫することが大切だと感じました。

古川 私は「アルファ米炊き出し訓練」に参加しました。また、アルファ米が出来上がる間に、中学生と町内会の方々に新聞紙で作る防災スリッパや食器の作り方を紹介しました。中学生から「今日教えてもらった事を自分も生かし、地域の人にも教えたい」という感想をもらい、とても嬉しく思いました。また、いざという時には子どもから高齢の方まで、幅広い年代の人が一緒に助け合わなければならないことを改めて痛感し、自分の学びにもつながりました。

若い世代の視点を生かした防災活動の取り組み

—— これからどんな活動をしていきたいと思いますか。

吉成 Team Bousaisiでは、コミュニティFMやNHKラジオ第1放送「ゴジだっちゃ」のコーナー「週刊防災士」で、自分たちの防災活動を振り返りながら情報発信しています。また、企業と防災グッズの開発にも携わり、学生ならではの若者としての立場からの柔軟な視点が活かされています。そういった活動を継続するとともに、将来就職する企業などでも、防災士としての知識や経験を生かしていきたいと考えています。

東北福祉大学防災協議会Team Bousaisi

日本防災士機構が認証する「防災士」の資格を取得した現役東北福祉大学生による団体。現在「学生防災士」として63名が在籍し、「若い力」が果たすべき役割は何かを常に考えながら、避難所運営訓練(HUG)や災害図上訓練(DIG)等のスキルアップ研修はじめ、地域の防災訓練への協力・支援、Facebook、ラジオ放送等、町内会・学校・企業・防災関係機関と連携し、多彩な防災活動を行っている。日頃の団体の活動が評価され、今年6月23日に日本防災士機構から「防災士」として大きな功労のあった個人・団体に表彰される「防災士功労賞」を受賞。



コラム

知ってみよう!

学べる仙台

その時あなたは?

災害の情報収集をしよう!

仙台市地震防災アドバイザー 及川 由佳里 主査
(仙台市危機管理室減災推進課)



災害時、特に大雨・台風の時は、適切な行動を取るために情報収集が重要です。気象情報、避難情報などを様々な方法で入手することができます。事前に、使い方の確認や登録をするなどして、非常時に備えましょう!

●テレビ(データ放送)、ラジオ



●緊急速報メール

スマートフォンや携帯電話等の対応機種に
対して、対象となる地域内の緊急情報を一
斉にお知らせします。

●インターネット

仙台市のホームページ

<https://www.city.sendai.jp/>

仙台市危機管理室Twitter

https://twitter.com/sendai_kiki

仙台市避難情報ウェブサイト

<https://hinan.city.sendai.jp/>

杜の都防災Web

<http://sendacity.bosai.info/>

sendacity/fireinfo/

杜の都防災メール

[http://sendacity.bosai.info/](http://sendacity.bosai.info/sendacity/bosaimail/)

sendacity/bosaimail/



▲Twitter画面イメージ

災害時には、停電になったり、携帯電話がつながりにくい場合もあります。情報の入手方法は、複数準備しておきましょう。

仙台市危機管理室減災推進課

TEL 022-214-3109

FAX 022-214-8096

HP <http://www.city.sendai.jp/gensaisuishin/kurashi/anzen/saigaitaisaku/sonaete/adviser/index.html>

知ってみよう!

備える仙台

「みんなで備えるマイ発電補助制度」の申請を受け付けています

平常時における3E(省エネ・創エネ・蓄エネ)促進と、災害時における通信機器等の非常用電源確保をすすめるため、ベランダや卓上に設置可能な小型太陽光発電と蓄電機能を有するセットの購入費用について1万円を上限に一部補助します。この制度は、市内に住所を有し居住している方や市内の町内会等が対象です。



▲太陽光発電パネル(例)



▲引地美保主事

市担当者の引地美保主事は「東日本大震災時には、少なくとも3日間、電力を自力で確保することが必要でした。災害時は、何より情報と連絡手段がなくなると不安になります。小型太陽光発電・蓄電セットがあれば、停電時にも明かりの確保や携帯電話の充電が可能になります。この機会に非常時の電源の備えについて、考えていただければと思います。」と話しています。

詳しくは、以下へお問い合わせいただくか、
市ホームページをご覧ください。

仙台市環境局環境企画課

TEL 022-214-8232

FAX 022-214-0580

HP <http://www.city.sendai.jp/ondanka/download/bunyabetsu/kankyo/kankyohozen/hojokin/index.html>

おうちの備えも
確認してみよう!

電気がなくても
あわてないように

